

発行元 維新の党京都府議会議員団代表 豊田貴志

府議の経験**市政**に活かす!

とよだ たかし 貴志

本会議質問 2011~2015

2011年 9月 本会議質問

- 国民文化祭について
- 北山文化環境ゾーンの整備について
- がん対策について
- 自転車の安全利用について
- 公立高校の教育制度・入試制度改革について

2011年 12月 本会議質問

- 地方分権について

2012年 6月 本会議質問

- 二元代表制について
- 専用球技場の整備について

2012年 12月 本会議質問

- 「都構想」と「特別自治市構想」について
- 京都動物愛護センター(仮称)について
- 警察署の再編整備について

2014年 2月 本会議質問

- 「京滋合併」構想について
- 公務員制度改革について
- 国旗掲揚・国歌斉唱について

2015年 2月 本会議質問

- 二重行政の解消について
- 教育について

とよだ貴志 プロフィール

昭和50年山科生まれ。陵ヶ岡小学校・同志社中学校・同志社高校・同志社大学卒業。京都信用金庫職員を経て平成13年(有)豊志産業(現(株)グローバルスタイル)設立、代表取締役役に就任。平成19年4月京都府議会議員初当選。文教常任委員長、総務常任副委員長、警察常任副委員長を歴任。現在、維新の党京都府総支部政調会長。

● とよだ貴志事務所

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町61-43
 TEL:075(591)1041 FAX:075(591)1141
 ●eメールアドレス takashi@toyoda-yamashina.com
 ●ツイッター [@toyodat](https://twitter.com/toyodat)
 ●ホームページ www.toyoda-yamashina.com
 最新情報発信中! | とよだ貴志 | 検索



▲京都新聞 2011年12月8日朝刊

▶京都新聞 2011年9月28日朝刊

豊田さんと
頑張ります!

次世代への府政



維新の党 京都府総支部府政対策委員

辻ひろじ

山科から実現します!

維新発祥の地で、地方分権の礎を。**維新・京都八策** とよだ^{たかし}貴志 



1 統治機構を変える 京都の発展と声が届く政治の為に

- 政令市である京都市の人口が京都府の56%も占める全国でも特殊な構造によって二重行政解消に向けた府市協調政策の限界点があり、京都府・京都市の双子の借金解消にむけた府市一体の行財政改革を進めるため、京都独自の取組みで広域行政の一元化と基礎自治体行政のきめ細かさを拡大する未来へ向けた真の改革を目指す。

2 既得権益と闘う 公平感のあるまちづくりの為に

- 京都における様々な既得権益に対して、聖域なくメスを入れ、公平感のある税負担推進や役所組織改革をはじめ府民感覚に合致した改革を推し進める。

3 教育システムを変える 教育を住民に取り戻す為に

- 文部科学省を頂点とするピラミッド型の教育委員会制度を一から見直し、教育委員会が独占している権限に首長が関与し、教育行政に住民の意思が反映できる仕組みを構築する。

4 社会保障制度改革 次世代に希望が持てる為に

- 現行の社会保障制度を堅持しつつ、将来負担の在り方も含め若年層が希望の持てる様に制度の抜本的な見直しを行う。特段、社会の宝である子ども達の育児環境の在り方を見直し、全国的にも低い出生率の改善を図る。また、介護については特区の活用により柔軟でバリエーションある施設設置を目指す。

5 産業創造と雇用創出 継承と創造による活性化の為に

- 京都全域を使った濃密な滞在時間延長モデルを構築し、観光需要による雇用の拡大、さらに新産業をはじめとするmade in kyotoの生産拡大を行う。その為に、新産業創造に向けた環境整備を行うと共に、若年層雇用の全国モデルを策定し、定住促進に繋げる。

6 統合防災システムの構築 住民の生命と財産を守る為に

- 近年相次ぐ、大規模災害に対しては機動的な救援体制が求められており、京都の危機管理を一元化し指揮系統の強化と効率化を目指す。

7 環境・エネルギー政策 豊かな自然環境を未来へ繋ぐ為に

- 京都議定書発祥の地として、環境保全に対する取組みの強化と、京都全域を使った原発にたよらない地産池消エネルギー政策の推進による地域産業化を実現する。

8 未来を見据えた戦略 次世代への責任を果たす為に

- 全てのプロジェクト目標を、場当たりのものではなく、未来へ向けて日本の都「京都」でありつづけるため「今」出来る事を始める戦略的な観点から立案し推進する。